

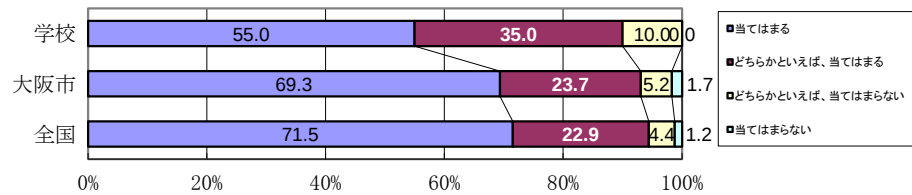
自尊感情・規範意識

結果の概要

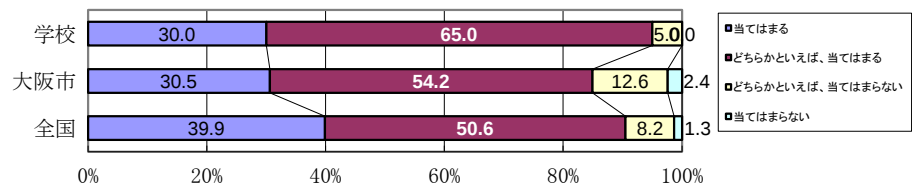
- ・「ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがある」割合は90%で、全国平均より4.4p下回っている。
- ・「学校のきまりを守っている」割合は95%で、全国平均より4.5p上回っている。
- ・「先生は、良いところを認めてくれている」割合は85%で、全国平均より5.2p上回っている。
- ・「自分には、よいところがあると思う」割合は60%で、全国平均より16.1p下回っている。

質問番号	質問事項
------	------

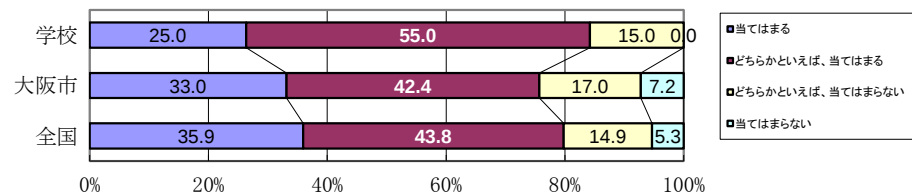
4
ものごとを最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか



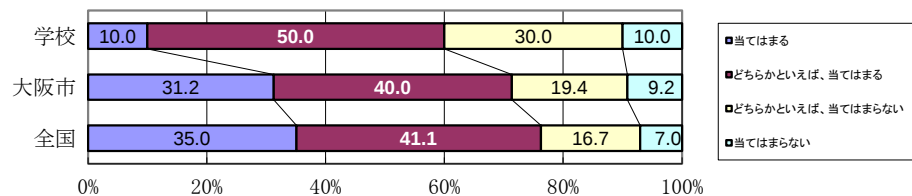
34
学校のきまりを守っていますか



28
先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか



6
自分には、よいところがあると思いますか



成果と課題

児童は、ものごとを最後までやり遂げる力を十分にもっており、達成した喜びを味わうことができている。その背景には、絶えず先生が児童を励まし、がんばりを誉め、認める取組がある。また、集団規律、学習規律など、あらゆる機会を捉えて指導してきているので、学校のきまりを守る児童の割合が高く、落ち着いた環境で学校生活をしていることがわかる。しかし、自信をもって、肯定的に自分を捉える力は、依然として低い傾向にあり、児童一人一人の力を発揮させる場を広げ、誉める教育を継続していく必要がある。

今後の取組

- ・一人一人の力を発揮させる場を増やし、児童のがんばりを認めてよさを伸ばす。
- ・お互いを認め合える温かい人間関係を築き、規範意識を高めながら、落ち着いた環境を維持する。
- ・児童との対話を心がけ、信頼関係を深める。